

令和4年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立船場図書館
指定管理者	国立大学法人 大阪大学
指定期間	令和3（2021）年5月1日～令和8（2026）年3月31日
施設概要	船場図書館
市支出額	なし

2. 事業の実施状況

図書館サービス業務	資料の貸出・返却・予約・利用者登録等の窓口業務を行った。箕面市立図書館蔵書の貸出冊数：281,339冊（個人貸出：279,616冊、団体貸出：1,723冊）
レファレンス業務	5分以内：5,468件、5分以上：242件
蔵書管理業務	利用しやすい書架を維持するため、日常的な書架整理、書架見出しや書架サインの整備に努めた。
図書館情報システム運用管理業務	個人情報の取り扱いに留意した上で、図書館情報システムを適切に運用した。なお、委託業者を含め職員全員が個人情報保護に関する研修を受講し、確認テストを受けた（年1回実施）。
カフェスペース運用管理業務	館内のカフェ「ALOHA CAFE Pineapple みのお船場店」について、利用者が快適に利用できるように運用管理している。
施設維持管理業務	施設設備の日常及び定期的な維持管理により施設の安全確保に努めている。
子ども読書活動の推進	2階にぎやかエリアにある季節の絵本展示を毎月行った。また、箕面市の指定管理者評価に係る合議で、おすすめの子供書を紹介してほしいとの希望があったので、吹抜け階段下にコーナーを設けて、4つのテーマで展示を行った。利用者の目につきやすいところだったためよく借りられた。 また、近隣の小学校・支援学校の見学や授業を5件行った。
お話し会事業の実施	コロナ禍のため、開催できていなかった乳幼児向けのおはなし会を9月から再開した。毎月2回行い、12回延べ140人の参加者があった。 また、12月10日に地域のボランティアグループと一緒に「おはなし会スペシャル」を行い、10組28人の参加者があった。
インターネットを通じた積極的な情報発信	船場図書館ホームページを通じて、日々のお知らせのほか、図書展示リストを公開するなどして利用者の関心に即した情報発信を行った。

大阪大学との連携	① 大阪大学の教員・学生が企画した外国文化に触れるイベントを子供向けに3件、大人向けに2件を実施した。 ② 大阪大学が船場生涯学習センターで開催した講座に関連する図書の展示を3件実施した。
開館時間の延長（自主事業）	平日は午前9時から午後8時まで開館を行った。
開館日の拡大（自主事業）	月曜日も開館した。
大阪大学蔵書の利用（自主事業）	大阪大学蔵書の市民貸出冊数は2,376冊。
教育研究活動の実施（自主事業）	図書館の業務に支障のない範囲において、大阪大学の教育研究活動を行った。
船場生涯学習センターにおける図書館利用講座（自主事業）	図書館職員による無料の生涯学習講座を、船場生涯学習センターで3件実施した。
繁忙期の自習専用席を船場生涯学習センターに設置（自主事業）	箕面市在住・在学の中学生・高校生向けの自習専用席を3階に設けているが、大阪大学の試験期間中および中学生の夏休み期間については船場生涯学習センターの部屋を使用した。なお、その経費は大阪大学が負担した。
図書展示（自主事業）	市立図書館、大学図書館の蔵書の展示を39件行った。新たにヤングアダルト向け展示を始めたほか、大阪大学外国語学部主催のイベント、箕面市文化芸能劇場公演に関連した展示も行い、連携を深めることができた。

3. 利用者の満足度

（1）利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	設備・運営への満足度（項番3、4）の各項目で8～9割の方に「満足」「おおむね満足」の回答をいただきました。自由記述欄記載の内容を見ると、施設がきれいであることと落ち着ける空間であるという意見が多く見られます。改善点・今後の取り組み（項番7）では、蔵書の充実・設備の改善・環境整備など様々な要望・提言をいただきました。
-------------------	--

（2）利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	実施対象施設外のため、意見交換会は実施していません。
-------------------	----------------------------

（3）利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	意見を整理して、すぐに実施できるものは実施いたします。市立図書館全体の内容に関する部分は中央図書館に伝えます。また、工事を伴う設備やアクセス改善については、中央図書館を通じて市に要望を伝えます。イベント、図書展示については、いただいたご意見を参考に工夫してまいります。
------------------	--

4. 収支状況

別紙収支報告書のとおり

・開館して2年が経ちましたが、入館者数は開館当初からほぼ変わりなく、多くの方にご利用いただいています。

・大阪大学との連携については、大阪大学外国語学部の教員・学生が企画したイベントを5件行うことができました。子ども向けには、トルコ、タイ、ハンガリーそれぞれの専攻の学生によるもので、絵本の読み聞かせの他、クイズや工作を用いて子どもたちにわかりやすく外国文化を伝えられるよう工夫しており、大変好評でした。また、大人向けのイベントを初めて行いました。詩歌と音楽を切り口にインドの芸術や美意識を紹介したイベントと、学生の卒業論文を元に現在の台湾を紹介したイベントで、どちらも事前申込制でしたが早いうちに定員に達し、市民の関心の高さが伺えました。

・船場生涯学習センターにおける無料の図書館利用講座は、昨年度実施し好評だった「図書館活用法」を2件行ったのに加えて、「図書館で調べる～人物・テーマ編」という新しい講座を行い、いろいろなことを調査するための参考資料やデータベースなどを市民の方に知っていただくことができました。

・箕面市が船場地区を文化芸術国際交流拠点とする取組の一環として、箕面市立図書館が購入する多言語・多文化資料の候補リストを選定しました。主にアジア地域の児童書378冊と、英語・フランス語に翻訳された日本のマンガ96冊を船場図書館の資料とすることができました。

・今後も市立図書館として、市民の方の情報ニーズに応えられるよう管理運営を行っていきます。同時に、この船場図書館が、多言語・多文化に触れる場、大阪大学の学術情報に触れる場、大阪大学の教員・学生が社会と連携して活動する場として機能するよう、大阪大学および地域の関連組織と協力し、多言語・多文化に関する資料の整備や提供、イベントや展示などを行っていきます。

令和4(2022)年度箕面市立船場図書館収支報告書

《収入》

科目	収入額	明細	備考	
図書館内カフェ施設利用料金収入	777,600	図書館内カフェ施設利用料金	777,600	厨房面積27㎡に月当たり単価2,400円を乗じた額
箕面市による電気・ガス代高騰による指定管理施設への光熱費支援	1,053,316		1,053,316	
学内経費による補填等	79,523,118	大阪大学経費	79,523,118	
合計	81,354,034			

《支出》運営に係る直接経費に関するもの※

科目	支出額	明細	備考	
建物維持管理費支出	20,882,251	複合公共施設共通部分維持管理費	6,491,012	
		船場図書館専用部分維持管理費	14,391,239	
		小計	20,882,251	
窓口等運営業務費支出	17,160,000	窓口等運営業務外部委託費	17,160,000	
		小計	17,160,000	
清掃業務支出	8,565,480	清掃業務費	8,565,480	
		小計	8,565,480	
光熱水料等支出	28,765,959	電気料	27,735,896	
		上下水道料金	1,030,063	
		小計	28,765,959	
警備業務費支出	2,486,791	警備業務管理委託費	2,486,791	
		小計	2,486,791	
消耗品費支出	1,763,777	消耗品（トイレトペーパーほか）	1,763,777	
		小計	1,763,777	
通信運搬費支出	707,571	放送受信料（NHK）	7,102	
		郵便料	503,644	
		電話	184,703	
		その他	12,122	
		小計	707,571	
保険料支出	5,800	指定管理者賠償責任保険	5,800	
		小計	5,800	
借料支出	208,340	船場生涯学習センター自習室借料	208,340	
		小計	208,340	
その他支出	808,065	複写機契約料	568,045	
		観葉植物設置業務料	52,800	
		産業廃棄物処理	187,220	
		小計	808,065	
合計	81,354,034			

※ 大阪大学職員の人件費、その他間接的に係る経費は含まない。